



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

HP: 第326号 2017年12月1日 連絡先: 日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341
: 左京生活相談所 Tel.781-6622

来年度予算に向けた 共産党市議団の要求書を提出



11月14日、来年度の京都市予算編成に対する、共産党市議団の要求書を市長あてに提出しました。

安倍政権が暮らしを厳しくさせる中、市長が市民の声に寄り添って、安倍政権に対して暮らしを守れと声をあげることが必要です。

また、高すぎる国民健康保険料、介護保険料・利用料など、社会保障の改悪を国が進めていますから、市独自に、予算措置を行い、市民の暮らしを支援する必要があります。

11・14府民大集会に3000人 いのちを守る新しい政治へ



11月14日、「いま、いのち・暮らし 憲法いかす京都11・14府民大集会」が行われ、3,000人が参加。みつなが敦彦府会議員（共産党府議団幹事長）が、府民・市民の願いに応えようとしない政治の告発を行い、尾藤廣喜弁護士が、貧困と格差が広がる中で、政治を変えるためにも、「みんなのいのちを守る署名」を集めようと呼びかけました。

秋の府市民総行動

11月15日、秋の府市民総行動が取り組まれ、市役所前では朝宣伝に引き続き、昼休みデモ、その後の個人請願行動が取り組まれました。



共産党市議団も市役所周辺デモに加わりました

市長や府知事が、安倍政権の暮らし破壊の政治にノーの声をあげるとともに、いのちと暮らし、雇用と営業を守る施策を実行せよとの要求を掲げて、集会とデモ行進などが行われました。

写真トピックス



←左京総合防災訓練が洛北中学校で行われる



↑左京子どもまつりで京建労のみなさんがトンカチコーナーを担当



←共産党市議団で憲法を守る3,000万人署名に取り組む

○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

次女（中学1年）がインフルエンザの予防接種に行きたくない、ダダをこねました。私は「仕方ないなあ」と半分あきらめていたら、横で聞いていた長男（高校2年）が、姉（高校3年）が受験生なんだからうつつたらあかんし、行いかなあかんと言いました。すると次女も「そうか。なら行くわ」と納得していました。長男と次女の大人の対応にびっくりです。

お姉さん、弟と妹から大事にされています。